

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：監査委員費 目：監査委員費

事業名 監査委員タブレット端末等運用事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

監査委員事務局監査課企画・特別監査係 電話番号：058-272-1111(内8213)

E-mail：c15401@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 878 千円 (前年度予算額： 878 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	878	0	0	0	0	0	0	0	878
要求額	878	0	0	0	0	0	0	0	878
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

現状の県の事務は主に紙ベースであり、監査で確認する資料、監査の準備や記録のための資料も紙ベースで作成されている。紙資料は電子データと比較して、作成等に手間や時間を要し、送付時のセキュリティや保管スペースの問題が生じ、過去事例の参照や横断的な同種事例の検索・抽出等において効率性に劣る。

また、コロナ禍のような不測の事態に備えて、本監査や監査委員協議会等を必要時にリモートで実施できる体制を確保していく必要がある。

本監査及び監査委員協議会資料のペーパーレス化のため、令和3年度から3年間の長期継続契約を締結して、クラウド文書管理システムを導入し、監査関係資料をタブレット端末で閲覧ができるようにしており、令和6年度には、3年間の長期継続契約の更新(令和6年11月から令和9年10月まで)を行った。

(2) 事業内容

監査委員等に配布したタブレット端末を用い、本監査及び監査委員協議会のペーパーレス化を図り、効果的・効率的な監査実施体制を確立する。

- ・クラウド文書管理システム等の維持管理
- ・ネット接続のためのデータ通信契約

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県 10/10

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	333	・ タブレット端末の通信料
使用料	545	・ クラウド文書管理システム等の使用料
合計	878	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 無

(2) 国・他県の状況

- ・ 7 県において、タブレット端末等を導入している。

(3) 後年度の財政負担

- ・ タブレット端末の通信料
- ・ クラウド文書管理システム等の使用料（長期継続契約）

運用費（千円）			総額 （千円）
項目	R 8	R9. 10まで	
役務費	333	194	527
使用料	545	318	863
総額（千円）	878	512	1, 390

(4) 事業主体及びその妥当性

監査委員へのタブレット端末の貸与であるため、監査委員事務局が主体となっていくべきものである。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

タブレット端末を活用することで、本監査及び監査委員協議会における紙資料の削減を行う。また、監査委員が過去の監査結果や他県状況等を適時に調査するほか、事務局との連絡調整に使用し、監査の効率化・省力化を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

指標を設定するのになじまない性格の経費(事務費)であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	タブレット購入（8台） 定期監査終了後であったことから、月1回開催の監査委員協議会の資料をデータで格納し、それをもとに協議を行った。 （一部紙資料との併用）
令和5年度	監査委員協議会に加えて、本監査資料についても試行的にデータ格納し、それをもとに協議を行い、両会議のペーパーレス化を図った。（一部紙資料との併用） 指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %
令和6年度	監査委員協議会に加えて、本監査資料についてもすべてデータ格納し、それをもとに協議を行い、両会議の完全ペーパーレス化を図った。 指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	県におけるD Xの推進を踏まえ、効果的・効率的な監査実施体制を確立するため、タブレット端末の導入により、本監査及び監査委員協議会のペーパーレス化を図ることは必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 ペーパーレス化の対象拡大により、クラウド文書管理システムに格納される情報量が増大していることから、契約容量(現在1GB)の増設を検討する必要がある。
--

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本監査及び監査委員協議会における紙資料の削減を図りながら、県におけるD Xの推進を踏まえ、監査手法の検討を行い、効果的・効率的な監査を実施する。 端末導入後の運用状況を踏まえ、契約更新等の必要性を検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------